

日本女子大学大学院学生特別研究奨励金 申請書

申請日 2024年 4月〇〇日

I. 申請者情報等

1. 申請者			
フリガナ	**** **	研究科	〇〇〇〇研究科
氏名 ※1	〇〇 〇〇	専攻・学年	〇〇〇〇〇〇専攻 博士課程後期 *年次
		学籍番号	〇〇〇〇〇〇〇〇
メールアドレス (携帯不可)	〇〇〇〇@〇〇〇〇	2023年度 特別重点化資金 への申請	無・有
携帯電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
当該奨励金 採択回数	1回(20**年度、 年度、 年度)		
博士課程後期 入学年月日	20**年 4月 1日		
2024年度 前期修了予定	無・有		
2024年度 休学予定期間	無・有 (有の場合、その期間 2024年10月1日 ~ 2025年3月31日)		
2024年度 留学予定期間 ※2	無・有 (有の場合、その期間 年 月 日 ~ 年 月 日)		

2. 指導教員			
氏名	□□ □□	研究科	〇〇〇〇研究科
		専攻	〇〇〇〇〇〇専攻
		職名	教授

3. 申請の概要	
研究経費の総額 ※3	20千円
研究課題名 (40字以内)	
研究目的 (5~6行)	

- ※1 2024年4月1日に本学大学院博士課程後期に在籍する学生であること。ただし、再入学者、休学者及び大学院学則第11条第5項に該当し、学費が減額されている者は、応募することができない。
- ※2 留学とは、機関の承認によるもの。
- ※3 研究経費の総額は、「II. 申請書情報 6. 研究経費内訳」の合計欄と一致させること。本学大学院博士課程後期に在籍する学生一人につき20万円が上限。
ただし、①半期在籍予定者(前期修了予定者、半期留学予定者等)は10万円が上限。
②本学大学院博士課程後期において標準修業年限を超えて在学する者は16万円が上限。
③標準修業年限を超えて在籍し、かつ、当該年度半期のみ在籍予定の者は8万円が上限。
④大学院学則第54条第4項に該当し、学費が減額されている者は5万円が上限。
- ※4 採択後、年度途中で退学や休学等となった場合、休学等の時点以降は経費を執行することはできない。また、休学期間や退学時期に応じて採択額が変更される。

記入例

II. 申請書情報

1. 現在までの研究の状況 分かりやすく記述してください。様式変更・追加不可。以下同様。

①研究概要 (当該研究のこれまでの取り組みについて簡潔にまとめて記述してください。)

②研究の学術的背景 (本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ)

<ポイント>

従来からの懸案の課題があるが、専門家集団でも十分な対応ができないことや、重要な問題が見過ごされていることを説明する。さらに自らが過去に実践してきた研究を紹介、それらの成果を活用・応用すれば、問題解決に道が開けることを説明する。

③当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点

<ポイント>

独創性を示すにあたり、同じ分野の専門家集団の動向を調査した結果を提示し、さらにそれらの動向に対して、自身の研究の立ち位置を説明すると効果的である。その上で、研究テーマの面白さ、着眼点の斬新さ、将来の学問的な広がりについても言及するとなお良い。

申請者氏名

〇〇 〇〇

記入例

2. 今年度の研究計画 図表を含めてもよいので分かりやすく記述してください

①概要（400字程度で）（研究目的を達成するための今年度の研究計画・方法について簡潔に記述してください。）

②研究計画（研究目的を達成するための今年度の研究計画・方法・どこまで明らかにしようとしているかについて記述してください。）

<ポイント>

- *アンサーファーストを心がける…結論を先に書き、しかるのちに理由や経緯等の説明を行う方法。読み進めてようやく結論が出てくるようでは、分かりにくい。
- *小見出しを立てて説明を行う
- *五月雨式な研究手順の説明は分かりにくいいため、気をつけること
- *研究をいくつかの研究要素に分解して説明するとわかりやすい
- *余白は1割以下にすること
- *強調部分にゴシック、アンダーラインを使用すると読みやすい
- *研究計画
 - ・しっかりとした精度の高い研究計画をある程度の分量で記載
 - ・研究手法や実験装置と関連させて説明を行う
 - ・可能な限り5W1Hレベルの説明を行う

申請者氏名

○○ ○○

記入例

3. これまでの研究成果

※昨年度、大学院学生特別研究奨励金に採択されていた場合は、その研究成果が分かるよう下線を引いてください。

以下の①②について具体的に記入してください。ない場合は「なし」と記入してください。

①雑誌論文、図書（著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ）

②学会・シンポジウム等での発表（会名、開催日、開催場所、口頭・ポスター発表の種別、単独・共同発表の種別）

<ポイント>

・雑誌論文

「著者名」、「論文標題」、「雑誌名（大学の研究紀要等を含む。）」、「巻」、「発行年（西暦）」、「最初と最後の頁」を記入すること。

・図書

「著者名」、「出版社名」、「書名」、「発行年（西暦）」を記入すること。

・学会発表

「発表者名」、「発表標題」、「学会等名」、「発表年月日（西暦）」、「発表場所」、「口頭・ポスター発表の種別」、「単独・共同発表の種別」を記入すること。

4. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取り組みを必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策を講じるのか記述してください。

例えば、個人情報に伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内の倫理委員会における承認手続きが必要となる調査・研究・実験が対象となります。該当する場合は、本学所定の委員会で審査・承認後に実施する旨を記述してください。なお、該当しない場合には「該当なし」と記入してください。

5. 研究経費の必要性

「今年度の研究計画」（P.3）欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、「研究経費内訳」に記入する研究経費の必要性・積算根拠について記述してください。

申請者氏名

○○ ○○

記入例

6. 研究経費内訳

適宜必要ない費目を削除する、費目毎の枠を広げる等して記入してください。
合計金額は1 ページ目の「研究経費の総額」と一致させること。

費目	金額(千円)	内訳・算出根拠など
消耗品費	10 12	文具(プリンターインクカートリッジ、USBメモリ、用紙、ファイル) 調査機材(ICレコーダー)
旅費交通費	①30 ②30 ③10	② 学会発表のための出張(202*.5.15~18、△△大学にて〇〇学会参加) ②調査出張(202*年*月、大阪・京都にて〇〇施設調査) ③日帰り調査交通費(202*.8~202*.2東京都区内の〇〇施設調査)
通信運搬費	18	アンケート送付・返送 (アンケート対象100件 送付@92円×100件、返送@92円×100件)
印刷製本費	15 10	アンケート用紙印刷 文献複写代・コピーカード
諸会費	10	学会参加費(〇〇学会 5千円、△△学会 5千円)
委託費	15	テープ起こし業務委託費
報酬(謝礼)	15	インタビュー謝礼(現金)(3千円×5件)
雑費	5 10	アンケート調査謝礼(物品)(500円×10件) 論文掲載料
教育研究用備品	0	
講読費	10	〇〇に関連する図書、雑誌
合計	200	

※各費目の内容・使用方法は研究費に準じる。
※経費は千円未満を切り捨てて記入すること。

申請者氏名

〇〇 〇〇